

第 1 回 第 2 期岡崎市スポーツ推進計画策定委員会 議事録

日 時：平成 30 年 12 月 18 日（火）11 時 00 分

場 所：岡崎市役所東庁舎 2 階大会議室

出席者：（委 員）堀越哲美委員、上原三十三委員、廣美里委員、三井政昭委員、
杉山まゆみ委員、土赤光宏委員
（事務局）河内社会文化部長、中村スポーツ振興課長、山田副課長、大竹係長、
音羽係長、稲吉係長、野田主事

傍聴者：なし

資 料：次第

- 別紙 1 第 2 期岡崎市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿
- 別紙 2 第 2 期岡崎市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱
- 資料 1 スポーツ推進計画改定の主旨とスケジュール
- 資料 2 上位関連計画の状況
- 資料 3 岡崎市のスポーツ振興計画
- 資料 4 岡崎市のスポーツ施設の状況
- 資料 5 スポーツ実施率の動向
- 資料 6 計画改訂の論点
- 資料 7 スポーツに関するアンケート（市民意識調査）について
- 資料 8 岡崎市スポーツに関するアンケート（市民意識調査）調査票案
- 参考資料 岡崎市の人口等の動向
- 参考資料 岡崎市体育施設ガイドブック

議題

（ 1 ）スポーツ推進計画策定の主旨とスケジュール（資料 1 ）

- ・事務局より資料 1 を説明
- ・質疑
- なし

（ 2 ）スポーツ推進計画に関する現状等と計画改定の論点（資料 2 ～ 6 ）

- ・事務局より資料 2 ～ 6 を一括して説明
- ・質疑

堀越会長 ・市が目指すスポーツ振興の目的・方向性の再確認は重要である。
・資料でいうと計画の「基本理念」に該当する部分をどのように考えるか。

事 務 局 ・近年、スポーツの概念が広がりを見せている。スポーツを「する」を中心に考えてきたが、これからは「みる」や「ささえる」という視点も含めて参画人口全体として捉えて考えていく必要がある。

- 廣 委 員 ・資料５について。小学生や中高生のスポーツ実施率は全国と比較してどうなのか。
- 事 務 局 ・手元にデータを持っていないので、確認して後日ご回答したい。
- 廣 委 員 ・岡崎市は、小・中・高校生はスポーツが盛んであるというイメージがあるが、それが成人になると実施率が下がるという状況がみられる。そこに着目するとよいのでは。
- 堀越会長 ・実態を調べてご報告をお願いしたい。
- 上原委員 ・岡崎市は部活動やクラブ活動が盛んである。データを調べてご報告頂きたい。
・資料３の計画目標に「５５％以上」と設定されているが、この目標値の設定の経緯を教えてほしい。
- 事 務 局 ・平成２２年度に計画策定した際に目標を「５０％以上」と掲げていた。平成２６年の計画見直しにおけるアンケート調査を実施したら５０％を若干上回る結果となった。そこで見直しを行い、無理のない重点目標として「５５％以上」という数字を再設定した。
- 三井委員 ・スポーツ人口の拡大という視点では、岡崎の場合には学校体育及び社会体育が盛んであることが特徴だ。
・小中学生のスポーツの多様化が進んでいる。一方で、部活動の制約も増えており、学校体育だけでなく社会体育への移行をいかに進めるか過渡期にある。
・さらに、従来の社会体育の概念を広げて、個人を含めたスポーツ人口全体を増やしていくことが大きな課題である。
・これまでは学校体育に頼っていた部分が強い。スポーツとして、より広い範疇で考えていくことが重要である。日体協が日本スポーツ協会に変わるなど、国全体としても見直しており、岡崎市としても見直しを図るよい時期だと思う。
- 堀越会長 ・いわゆる「体育」ではなく「スポーツ」に視点が変わっており、個人としてスポーツに親しむことができるようにすることが求められる。
- 三井委員 ・これまでの学校体育や社会体育に頼っていた状況から、より個人のスポーツを振興していくことが重要になる。
- 土赤委員 ・市民がスポーツ施設を借りようとしても、土日は大会優先になり借りられない。そのためクラブチームなどに入っていないとスポーツをするのが難しい。
・健康づくりという点では、高齢の方が公民館などの施設を有効利用した健康スポーツの推進を考えてもらえるとありがたい。
・例えば和歌山県では踏み台昇降を利用した健康スポーツが盛んになっている。年齢が上がった際にも自立した生活を送るために必要な健康を維持してもらうことで社会保障費の削減にもつながる。岡崎市でも参考にしてほしい。
- 堀越会長 ・施設の有効活用についてご意見をいただいた。
- 杉山委員 ・スポーツ推進委員の立場から意見を述べたい。
・地域で成人のスポーツへの参加を促進している。現状では、指導者が少ないことなどが原因で行っているスポーツの種目に偏りがある。
・指導者の確保を進めることでスポーツの参加人口も増えてくるのではないかと。

- 堀越会長 ・指導者人材の養成も大事である。
・大事な意見をいただいたので、今後の検討に反映していただきたい。
・議事を次に進めさせていただく。

(3) 岡崎市スポーツに関するアンケート調査 (資料 7、資料 8)

- ・事務局より資料 7・8 を説明
- ・質疑

堀越会長 ・資料 8 についてすぐにご意見をいただくのは難しいと思いますので、一度持ち帰ってじっくりお考えいただきたい。

・主に資料 7 を見ていただいて、何かご意見があればお願いしたい。

事務局 ・アンケート調査は 1 月 7 日に発送したいので、今週中をめぐにご意見をいただきたい。

堀越会長 ・今回はサンプルを傾斜抽出するようだが、各年代の回答率を考慮してバランスのよい回収ができるように考えられているのか。

事務局 ・回収率が高い世代とそうでない世代もあるので、そのあたりを考慮して傾斜抽出し年代に偏りが出ないようにしている。

堀越会長 ・先ほどの改訂の論点や基本理念などを踏まえて、設問として入れるべき内容があれば、そんな観点からもご意見をお願いしたい。

三井委員 ・問 1 ～ 12 については、全国調査と同様の設問ということか。

事務局 ・全国調査を参考に、選択肢は本市の状況を踏まえて若干見直しをしているものの、国の調査結果と比較できる設問にしている。

三井委員 ・全国のデータと比較することで、客観的な状況が把握できればよい。

堀越会長 ・選択肢の順番について、考え方があれば教えてほしい。

事務局 ・基本的には国の調査票をベースに作成している。

廣委員 ・資料 7 でも 8 でも、「みる」が「見る」と漢字で表現されている箇所が見受けられた。見るスポーツは「ひらがな」が正しいか。

事務局 ・「みる」も「ささえる」もひらがなが正しいので、訂正したい。

上原委員 ・学校期は参加率が高く、成人になると低くなるという状況を、客観的に測る設問はあるか。手がかりが得られる設問があればご検討をお願いしたい。

・学校では部活動で一生懸命やっているが、社会人になると少なくなる原因として、時間や指導者不足の問題などが考えられる。この調査で手がかりがつかめるとよい。

堀越会長 ・回答者の負担にならなければ、追加の設問を検討してほしい。

上原委員 ・学生から社会人になるときに、なぜ辞めてしまうのか把握する設問を検討してほしい。

堀越会長 ・ご意見があれば今週中に事務局にご連絡をお願いしたい。

(12 時 15 分 閉会)